

東京七座会

平成29年春号 (No.14)

色とりどりのさつきやつつしが咲き競う季節になりましたが、会員の皆様にはお変わりなく、お健やかに暮らしたものと存じます。

平成28年のふるさと会は、第28回東京七座会が6月19日に池袋サンシャイン60 58階の『サンシャインクルーズ・クルーズ』で、少人数15名の出席でしたが、高速エレベーターから降りた会場は池袋の街が一望でき、その都会の一角に設けた、年一回の【七座】では「今泉の駒踊り」「前山の盆踊り」の動画映写に、「同級生が映ってる!」「あの場所、どこだ!」の感嘆の声が挙がりました。また、上京して初めての再会もありで、郷土を懐かしむ【今泉・前山】となりました。また、第29回東京鷹巣会は10月9日に霞が関ビル35階『東海大学校友会館』で、会員125名と来賓36名の参加がありました。役員改選があり新会長に坊沢出身の熊谷幾麿氏が選出されました。なお、当会からは13名の出席で前山出身の戸澤博さんの初参加もあり、大いな賑わいとなりました。

※会員の動向については、退会4名により118名(他に下記住所不明9名)の会員数となっております。

退会者

住所不明者

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 28 簾内 輝男 (死亡) | 27 佐藤 賢四郎 | 37 簾内 豊勝 | 99 小笠原弘美 |
| 28 安井 キナ子(死亡) | 27 三浦 キサ(木村) | 39 成田 寛 | |
| 35 田村 エミ子(都合) | 28 武田 強 | 43 藤田 敏 | |
| 38 戸嶋 正子 (都合) | 32 仲谷 国男 | 43 蕪山 栄子(熊谷) | 《氏名の前数字：中卒年》 |

簾内輝男さんは七座会結成に奔走し、ご尽力いただきました。衷心より拝謝申し上げます。

安井キナ子さんは発足時から会員で、会へのお力添えに心より感謝いたします。

お二人のご冥福をお祈り致します。(合掌)

<住所不明となられてる方々については皆様からの情報をお寄せ下さるようお願いいたします>



第28回 東京七座会



【第29回東京鷹巣会】



七座のあれこれ

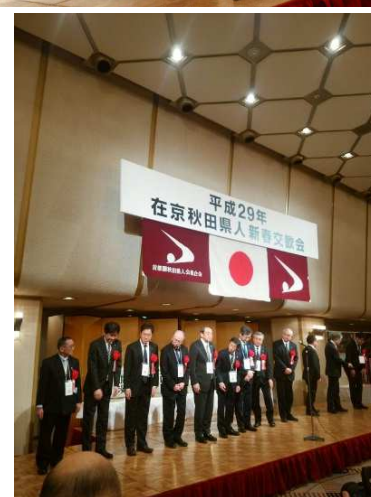
【戸沢家】前山が伊勢堂長根に在ったころの村の草分けは、三左衛門という百姓であった。江戸期には苗字を「戸ヶ沢」と称して、代々村の肝煎を勤めていたが、後に「ヶ」を除いて「戸沢」と改めた。出自は南部の戸沢出身という言い伝えであるが、その地名の具体的な場所のはっきりしない。勘左衛門、三郎兵衛が古い別家である。(戸沢本家が『カミ』の家です)

【小笠原三十郎家】庭に、推定樹齢300年というサツキの大木が2本ある。花の色は薄桃色で季節になると大輪の花を咲かせて実に見事である。この木は伝によると、同家がかつて仲村姓を名乗っていた古前山時代に植え、家屋の移転に伴って移植したものであるという。仁左衛門が本家であるが、本家は早い時代に離村した。『サンジュール』の家です。本家が『シルシ』の家で、これら同族は神道系です。別に仏教系の小笠原家があります)

【佐藤七郎兵衛家】村の豪農であった。南部九戸氏の家臣であるが、九戸の乱で城主が滅亡するにおよんで秋田へ流れて来た。いつごろ今泉へ定住したか分からないが、屋敷は今の成田本家の向い側一帯であった。この土中から金属類がでたことがあったことから、七郎兵衛は鍛冶屋も営んだことがあろうという伝えである。佐藤家の墓地に延命地蔵と同じ石材の供養塔が立っている。刻字に「寛文八歳四月七日、常円禅定門菩提也」とある。この人が七郎兵衛の先祖ではなかったか。没落したのは江戸中期の宝暦年間で、別家には綴子の和右エ門、坊沢の武右エ門、今泉の万太郎があった。菩提寺は綴子の宝勝寺で、木彫りの延命地蔵も同家の本尊として寄進している。先祖の供養をしている直接の子孫は、役場近くの佐藤茂松氏(福助堂)である。(福助堂の現店主の忠裕は中学校の同級生で今泉出身だと知っていましたが、詳細を存じ上げなくこの事に驚いていました)

<<後記>>七座会としての平成28年度の一大出来事と云えば、1月28日の在京秋田県人新春交歓会に「前山盆踊り」が出演したことです。当日の様子を別紙でお知らせしていますので、是非ご覧下さい。(熊谷忠憲)

1/26 在京秋田県人新春交歓会に出席しました!! ホテルグランドパレスで秋田人約 400 人の参加でした。
 17:30～の受付・18:00 の開場です。18:30 からのスタートは我が故郷の前山郷土芸能「獅子踊り」の披露からです。(懐かしく、ああ同級生がいる・・・)。開会宣言は司会の加藤多佳子・女子アナです。秋田県民歌♪秀麗無比なる・・・♪斉唱から、佐竹知事の挨拶・国会議員紹介・市町村長紹介と続き、秋田酒 5 樽を 15 人による鏡開きが行われ乾杯です。そのあとは歓談ですが、余興はまたもや前山郷土芸能「雑魚釣り舞」(じゃっこつりまい)です。私を、これでもかと泣かしてくれました。「秋田ふるさと応援団」が秋田への応援エールで締めてくれました。感激のひとつときに感謝です。
 前山からの上京者は
 [獅子]熊谷和成・戸澤拓史・戸沢元継 [雑魚]小笠原忠夫(会長)・熊谷信博 [太鼓]熊谷憲久の 6 名です。
 当日の朝4時に前山を出発し、東北道経由で午後2時過ぎに到着しました。栃木北部まで雪があったとのこと。事前連絡があったので、ちょっとハードスケジュールだなあと心配していました。無事到着にホッとしました。閉会後は半蔵門の宿泊ホテル近くの居酒屋で「打ち上げ」となりました。話が尽きなく、閉店まで居ました。もちろん、話題は前山の事ばかりでした(笑)。本当にお疲れ様でした。翌朝、同級生から、これから帰ると電話があり「東京もさんびいな!」でした。私からは「んがぁも、きいつげでなぁ」「みながらスて、注意スてなぁ!」です。



平成29年
 在京秋田県人新春交歓会
 出席者名簿

秋田いっすな!

©2015 秋田県人だっチ H280121

とき 平成29年1月26日(木)
 午後6時30分～

ところ ホテルグランドパレス
 「ダイヤモンドルーム」(2階)

主催 秋 田 県
 首都圏秋田県人会連合会

